



始良市立 松原なぎさ小学校

児童数 682 人
学級数 25 クラス



テーマ

子どもたちの自尊感情を培い、より豊かな人間関係の育成をめざして

研究に当たって(テーマ設定の理由)	研究スケジュール
<p>本校は、学校教育目標「心豊かで確かな学力を備え、未来を生きぬく松原なぎさの子どもを育てる」の具現化を図るため、日頃から人権教育を意識し、人権旬間などに取り組んできた。その成果もあり、児童の人権意識は高まりつつあるが、人間関係の育成という点で課題がある。</p> <p>そこで、チーム学校として全職員の共通理解と共通実践を図る校内研修の質の向上と家庭との連携による人権教育の推進を図ることで、児童の自尊感情や人権意識の更なる高揚とよりよい人間関係を育むことができるのではないかと考え、本研究テーマを設定した。</p>	<p>5月18日(月) 校内研修 「県人権教育資料の活用」</p> <p>8月20日(木) 「講師招聘による校内研修」</p> <p>11月26日(木) 「講師招聘による人権教室」</p> <p>12月1日(火)～10日(木) 人権旬間の取組「全学級による実践」</p> <p>2月1日(月) 校内研修 「校内研修の報告及び演習」</p> <p>2月9日(火) 「講師派遣による家庭教育学級」</p>

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

「あったかさんの木」

友達のよいところや友達から親切にしてもらったことなどを学年ごとのポストに投函し、児童会の小さな親切委員会が掲示し、校内放送で紹介している。

「あいさつ運動」

児童会の生活委員会が、毎朝、校門でのあいさつ運動を行っている。
また、第2土曜日には、PTAおやじの会も参加している。

「人権旬間の取組」

人権教育指導資料「仲間づくり」を参考に、学年や学級の実態に応じて、温かい人間関係づくりのための学級活動等を全学級で実施した。



【あったかさんの木】



【あいさつ運動】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 子どもたちから「友達のよいところを紹介できたり、友達から自分のよいところを教えてもらったりしてうれしかった。」などの感想が多数あり、自尊感情と人権意識を高める機会となった。
- 人権同和教育課から講師を招聘し、実践につながる専門的な職員研修や、保護者及び児童を対象にした人権教室を行ったことで、人権意識の向上につながった。
- 今後も、全教育活動の根底にある人権尊重の精神を意識し、子どもたちの仲間づくりをさらに進めていきたい。